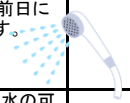
2018年11月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

クリニカルパスウェイ
全身麻酔下胸腔鏡手術を受ける患者さんへ

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	術前	入院日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	手術2日目	手術3日目以降	退院日	退院後の生活
日時		月　日	月　日	月　日　時頃	月　日	月　日	月　日	月　日	
目標	□手術の必要性・内容が理解できる。	□精神的・身体的に問題なく手術が受けられる。	□精神的・身体的に問題なく手術が受けられる。	→	□息苦しさがなく、呼吸が安定し、早期に退院する。	→	→	→	
食事	□制限なし	□常食もしくは治療食 □21時から絶食 □20時から経口補水、または経口飲水があります。	□絶食 □朝6時より飲水禁止 	□基本的に絶飲食となります。	□朝より常食開始 	□常食	□常食	□常食	□食事についての制限は特にありません。
活動	□制限なし	□制限なし	□制限なし	□ベッド上安静となります。	□看護師付添いのもと、歩行を開始していきます。	□制限なし 激しい運動は禁止ですが、軽いウォーキングなら可能です。	□制限なし	□制限なし	□運動は、軽いお散歩なら大丈夫ですが、激しい運動はお控えください。傷口が完全にくっついているわけではないので、激しく運動をすると傷口から出血してくる可能性が考えられます。
検査処置	□術前検査があります。（採血・尿検査・心電図・痰・胸部CT・レントゲン・血液ガスなど）	□採血検査があります。 □マーキングをおこないます。 	□入室時間は　：　です。 □　時に手術着に着替えます。 □貼り薬、金属類、入れ歯、装飾品はすべて外して入室します。 ※付き添われるご家族の方は5階か4階ロビーにてお待ちください。	□手術終了後に胸部レントゲンを撮影します。	□随時、採血や胸部レントゲン検査をおこないます。 □身体に酸素が足りていない時は、酸素をしていただく場合があります。	□医師の判断で胸腔ドレーンを抜去します。 □胸腔ドレーン抜去後は、午後に必ずレントゲンを撮影します。レントゲンの結果で、退院日が決まります。 	→	→	
薬	□医師・看護師の指示に従ってお薬を内服していただきます。	□看護師・医師の指示に従ってお薬を内服していただきます 	□指示があったものを朝に内服します。	□手術後は点滴をおこないます。	□基本的には持参薬は全て再開します。その際、痛み止めが追加されます。 □食事が食べられない時は点滴をします。 □抗生剤の点滴をします。			□抗生剤を内服し、退院後も継続していただく時があります。看護師から必要時は説明があります。	
清潔	□制限なし	□シャワー浴 術後数日はシャワーに入れないので、手術前日に入っていただきます。 			□シャワー禁止です。清拭をおこないます。	□胸腔ドレーン抜去後はシャワーのみ可能です。 □入浴は次回外来までお控えください。 	→	→	→
指導説明	□内服しているお薬は看護師に知らせてください。 □病状についての説明があります。	□前日の食事、飲水の可能な時間をお伝えします。 □術後に集中治療室に入室する可能性があります。入室する場合は見学にいきます。			□胸腔ドレーンや点滴などの管が抜けないように、十分注意して活動しましょう。また、身体の下敷きになったり、折れ曲がったりしないように注意してください。			□手術で取った部位の結果がわかり次第、医師より説明があります。結果にて、次の治療方針を決めていくことになります。 	□傷口が赤くなっていたり、痛みが強い時、熱がある時は病院へご連絡ください。 □呼吸が苦しい時は、その場に立ち止まり、一度大きく深呼吸をしてください。それでも呼吸が苦しいようでしたら、病院へご連絡ください。

《連絡先》 東京慈恵会医科大学西部医療センター　　TEL：03－3480－1151